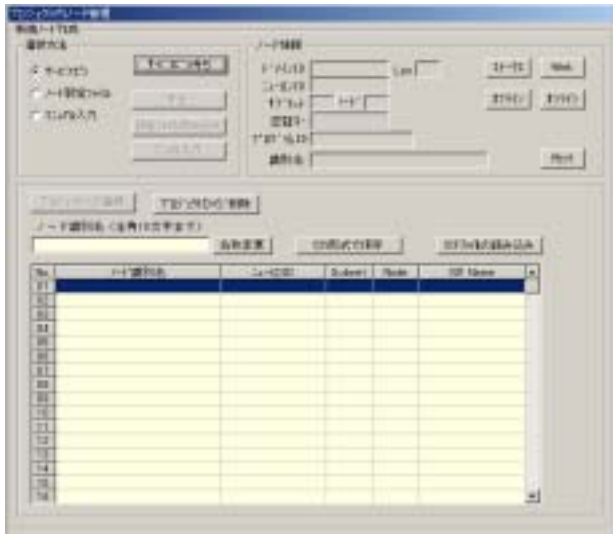


**LAN間バインドをサポート**

**iDAqBinder Ver2.0**



iDAqBinder は、MLtolon や iDAqRouter を利用し LONWORKS ネットワーク上の各種 LON 機器に対し下記に示すような機能を実現するアプリケーションソフトウェアです。

- (1) ノードの状態読み出し
  - (2) ノードアドレスの設定および変更
  - (3) 各ノード内のネットワーク変数の読み書き
  - (4) ネットワーク変数のバインド操作
  - (5) ノード内情報の保存と読み込み
- ・各 LON 機器に接続する際にノード側情報を書き換えることはありませんので、ネットワーク構築後のノードに対するメンテナンスツールとしても利用できます。

**仕 様**

**動作 OS**

このソフトウェアはマイクロソフト社の下記の OS 上で動作するソフトウェアです。

その他 OS 上での動作は保証されていません。

- Microsoft Windows95 日本語版
- Microsoft Windows98(SE) 日本語版
- Microsoft Windows NT Server 4.0 日本語版
- Microsoft Windows NT Workstation 4.0 日本語版
- Microsoft Windows Me 日本語版
- Microsoft Windows 2000 日本語版

**動作機種**

- 機種： IBM PC 機 / その互換機
- CPU Pentium 以上
- メモリー： 128MB 以上
- ハードディスク： 1GB 以上の空き領域
- 画面： 1,024 x 768
- シリアルポート： MLtolon 接続用の空き COM ポート 1 チャンネル
- CD-ROM： インストール時に必要
- NIC 10BASE-T / 100BASE-T

\* PC と MLtolon は、下記の通信条件によりシリアル接続します。

**【通信条件】**

- PC COM ポート： COM1
- 通信速度： 9600bps
- スタートビット： 1ビット
- データ長： 8ビット
- ストップビット： 1ビット
- 通信方式： 半2重方式

\* PC と iDAqRouter は、10BASE-T/100BASE-T により接続します。

**特 徴**

**簡易ネットワーク構築ツール**

- ・ LonMaker と同様な使い方として、ノードアドレスの設定 (コミッション) 変数バインドを行いネットワークの構築します。
- ・ただし以下のような制限があります。
  - (1) ルーターノードの構築は出来ません。
  - (2) サブシステムを定義することが出来ません。

**ネットワーク保守ツール**

- ・ LonMaker により構築済みのネットワークに接続し、ネットワーク内のノードに対し各種設定値 (SCPT) の変更、ノードプログラムの更新を行うために使用出来ます。
- ・ LonMaker により設定されたノードアドレスは一切変更しないので、LNS データベースが無くても運用可能です。

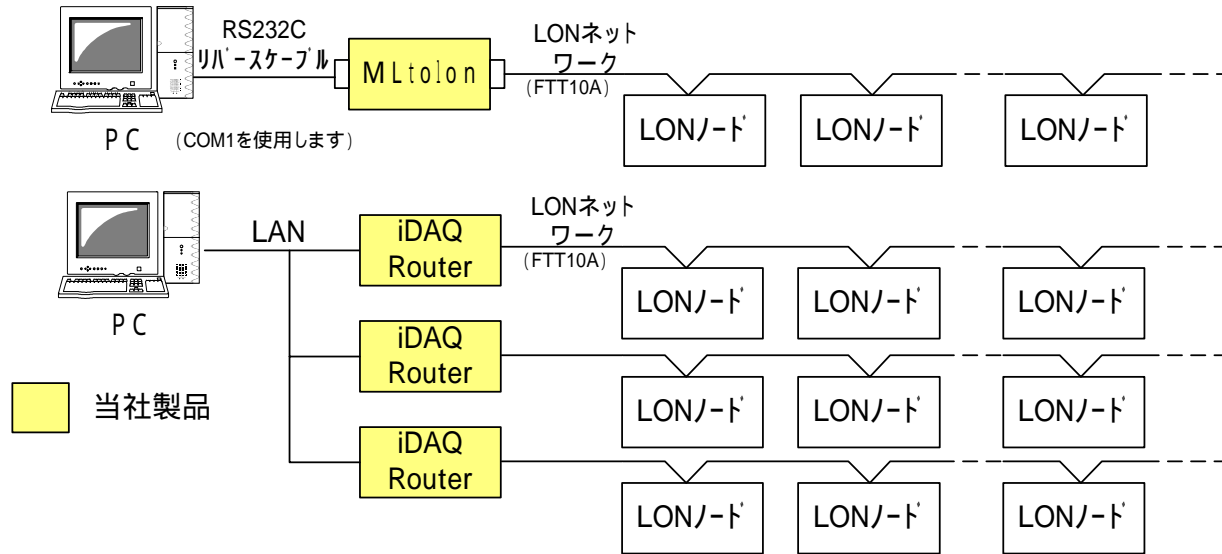
**ネットワーク監視ツール**

- ・ LonMaker により構築済みのネットワークに接続し、ネットワーク内のノードに対しネットワーク変数をバインドすることなく監視することが可能です。
- ・ ネットワーク変数値は PC に送信されるので PC 上に独自の監視アプリケーションを実行させることが出来ます。

**アプリケーションノードとしての利用**

- ・ iDAqRouter の SDK (iDAq-LIB) を使用し PC 上で独自のアプリケーションを構築することが可能です。
- ・ 変数バインドを一切使用しないポーリング方式でのアプリケーションが作成できます。
- ・ 変数バインドを iDAqRouter にバインドしてのイベント型のアプリケーションを作成することが可能です。

## 必要機器



## 機能

### プロジェクト機能

- ・ iDAQBinder はノードをプロジェクト単位で管理する方法を採用しています。従ってノードに対し各種操作を行う場合、始めにノードをプロジェクトに登録する必要があります。
- ・ プロジェクト内に登録可能なノード数は最大 128 台です。
- ・ プロジェクトは最大 256 プロジェクト作成可能です。

### ノード制御機能

- ・ 登録済みノードに対し制御操作が可能です。

### ノード内データ読み込み・書き込み機能

- ・ 登録済みノードに対しデータの読み込みまたは書き込みが可能です。

### ノードプログラム更新機能

- ・ 3120 シリーズのノードに対しプログラムのダウンロード機能を持ちます。
- ・ ノードのプログラムバージョンアップ時に使用します。
- ・ 使用するプログラムファイルは拡張子 N X E のファイルです。
- ・ バージョンアップとして行う場合にはあらかじめノード情報ファイルをファイルに保存しておき、プログラムダウンロード後、ノード情報ファイルを読み込み、ノードへ書き込む必要があります。

### ネットワーク変数アクセス機能

- ・ 登録ノード内ネットワーク変数に対し、読み出しおよび変更が可能です。

### ネットワーク変数バインド機能

- ・ 登録ノード同士でのネットワーク変数のバインドが可能です。
- ・ プロジェクト内で最大 12288 組の接続が可能です。
- ・ バインド操作はノードの無い状態でも可能で、設定内容を一括しノードへ転送することにより実バインドを行います。(オートバインド)

### 構成プロパティ情報管理機能

- ・ 登録ノード内の構成プロパティ情報を抽出し読み書きが可能です。  
(ネットワーク変数の中の入力型でコンフィギュア設定の変数を対象にします。)

### LAN間バインド機能

- ・ iDAQRouter 間での LAN 間バインド機能を有します。又、iDAQRouter に対してユニオン接続が可能な為、他の管理パソコンで最新のネットワーク変数を監視できます。

### バインド費用不要